

# 慶應義塾大学

## 2027年度大学院法学研究科

### 入学試験要項（一般入試・社会人入試）

#### 目 次

法学研究科アドミッション・ポリシー .....	2
法学研究科一般入試日程.....	3
1. 募集人員.....	3
2. 出願について .....	4
2 - 1. 修士課程一般入試出願資格 .....	4
2 - 2. 修士課程社会人入試出願資格 .....	4
2 - 3. 後期博士課程出願資格.....	5
2 - 4. 出願登録（インターネット） .....	5
2 - 5. 出願期間 .....	5
2 - 6. 出願書類の郵送.....	6
2 - 7. 入学検定料 .....	6
2 - 8. 出願書類 .....	6
2 - 9. 受験票発行のお知らせと印刷 .....	10
2 - 10. 出願資格認定申請.....	10
3. 入学試験日程および試験会場.....	10
4. 入学試験方法 .....	11
5. 合否判定方法・基準 .....	14
6. 合格発表 .....	14
7. 入学手続 .....	15
8. 入試統計（過去5年間の入試結果） .....	15
9. 入学に必要な費用・奨学制度など .....	15
10. 三田キャンパス案内図.....	17



## 法学研究科アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

<https://www.gs.law.keio.ac.jp/about/policy.html>

## 個人情報の取り扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

出願、入学手続ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門におきまして、「慶應義塾大学における学生等の個人情報の取扱い」に記載されている利用目的の範囲において適切に管理・利用いたします。

各手続にお進みいただいた場合には、以上の点にご同意いただいたものと取り扱わせていただきます。予めご了承ください。

- ・慶應義塾個人情報保護基本方針および保護規程

<https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/>

- ・慶應義塾大学における学生等の個人情報の取扱い

<https://www.keio.ac.jp/ja/assets/download/privacy-policy/index/students-pip.pdf>

## 大規模自然災害（激甚災害）被災地の受験生に対する特別措置について

慶應義塾大学では、大規模自然災害（激甚災害）による被害が生じた場合、被害を受けた受験生の方々に対し、経済的な面で支援を図るため、被災の状況を考慮して、それに応じた特別な措置を講じることがあります。その際の手続の詳細および申請書等は、慶應義塾大学入学センターウェブサイト（学部入学案内サイト）に掲載しますので、ご覧のうえ手続をお取りください。

URL：<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/>

お電話での問い合わせ先：03-5427-1566（入学センター）

## 安全保障輸出管理について

本学は、学生への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理（国外への貨物・技術の持ち出し・送付等、および国内での外国人等（外国人研究者・留学生等）への技術提供について、経済産業大臣の事前許可が必要かどうかの事前確認を含む）を行っています。それにより、希望する教育が受けられない場合や、研究ができない、または、希望する教育・研究内容の変更を求められる場合があります。

※安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

## 2027年度 法学研究科 入試日程（一般入試・社会人入試）

### < 修士課程 秋期入試 >

出願資格認定申請（該当者のみ ※p.10 参照）	2026年6月16日(火)～6月18日(木)
出願登録（インターネット）	2026年6月30日(火)10:00～7月10日(金)15:00
入学検定料の支払期間	2026年6月30日(火)10:00～7月10日(金)23:00
出願書類の郵送期間	2026年7月7日(火)～7月10日(金)
第1次試験（筆記試験）	2026年9月16日(水)
第1次試験 合格発表	2026年9月16日(水) 19:00
第2次試験（口頭試問）	2026年9月17日(木)
合格発表	2026年9月17日(木) 19:00
入学手続期間	2027年3月1日(月)～5日(金)

### < 修士課程 春期入試 / 後期博士課程入試 >

出願資格認定申請（該当者のみ ※p.10 参照）	2026年11月24日(火)～11月26日(木)
出願登録（インターネット）	2026年12月14日(月)10:00～12月24日(木)15:00
入学検定料の支払期間	2026年12月14日(月)10:00～12月24日(木)23:00
出願書類の郵送期間	2026年12月21日(月)～12月24日(木)
論文PDF・要約 アップロード締切	2027年1月7日(木) 23:00
第1次試験（筆記試験）	2027年2月26日(金)
第1次試験 合格発表	2027年2月26日(金) 19:00
第2次試験（口頭試問）	2027年2月27日(土)
合格発表	2027年2月27日(土) 19:00
入学手続期間	2027年3月1日(月)～5日(金)

## 1. 募集人員

### 修士課程

専攻	学位	募集人員	
民事法学専攻	法学	50名	
公法学専攻	法学	40名	50名
専修コース 宇宙法 *	法学	10名	
政治学専攻	2028年3月以前の学位取得者	法学	30名
	2028年4月以降の学位取得者	政治学	
専修コース 公共政策 *	公共政策	10名	50名
専修コース ジャーナリズム *	ジャーナリズム	10名	

### 後期博士課程

専攻	学位	募集人員	
民事法学専攻	法学	10名	30名
公法学専攻	法学	10名	
政治学専攻	2029年3月以前の学位取得者	法学	10名
	2029年4月以前の学位取得者	政治学	

#### 【注意事項】

- 修士課程の募集人員は、全ての入試制度（一般入試、社会人入試）の合計数です。
- 社会人入試制度が設けられている専修コースには “\*” が記してあります。
- 修士課程入試（秋期・春期）および後期博士課程入試合格者の入学時期は、2027年4月となります。

## 2. 出願について

障害や疾病等により受験および入学後において配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、修士課程秋期入試出願希望者は2026年6月18日(木)までに、修士課程春期入試または後期博士課程出願希望者は2026年11月26日(木)までに、必ず学生部大学院入試担当まで問い合わせてください。

### 2-1. 修士課程一般入試出願資格

次のいずれかに該当する者

1. 日本国内において、大学を卒業した者または2027年3月31日までに卒業見込みの者
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2027年3月31日までに授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年以上の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者
4. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であり、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）または専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 日本国内の大学に3年以上在学した者（またはこれに準ずる者）で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものととして本大学大学院法学研究科が認めた者
7. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または2027年3月31日までに授与される見込みの者
8. その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があるとして本大学大学院法学研究科が認めた者で、入学までに22歳に達する者

#### 【注意事項】

1. 民法法学専攻または公法学専攻に出願する場合は、専攻する科目 4 単位以上を含む法学関係の専門科目 16 単位以上を取得していること（2027年3月末までに取得見込みも含まれます）またはこれに相当する能力を有していることが求められます。この条件を満たしているかについては、第2次試験において確認される場合があります。ただし、公法学専攻宇宙法専修コースへの出願者はこの限りではありません。
2. 出願資格 6 に基づく出願は、次の条件を満たす者が春期入試に出願する場合に限りです。
  - イ 2027年3月末において、大学在学期間が3年に達すること。
  - ロ 2027年3月末において、大学に入学以来90単位以上を取得見込みであること。
  - ハ 2026年度において、30単位以上を取得見込みであること。
  - ニ 2025年度までに取得した単位の3分の2以上が、在学する大学の学業成績における評語の最高点であること。なお、休学または留年した期間は、在学期間に含まないものとします。ただし、休学期間中に留学などでさらに別の大学に在学し、法学研究科の認める単位を取得している場合は、法学研究科がこれを在学期間として認めることがあります。また、入学試験に合格した後、上記ロおよびハに定める単位を取得できないことが確定した場合は、入学の資格は取り消されます。
3. 出願資格 6 または 8 については、事前に「出願資格認定申請」が必要です。詳細はp.10を確認してください。
4. 出願資格のうち「見込み」による出願者については、入学試験に合格した後に、2027年3月31日までに出席資格を満たすことができないことが確定した場合は、入学の資格は取り消されます。

### 2-2. 修士課程社会人入試出願資格（公法学専攻専修コース および 政治学専攻専修コースのみ）

大学学部を卒業後、2027年3月31日までに常勤または社会人経験が合計2年以上となる者

社会人経験の職種、勤務形態等は問いません。ただし、政治学専攻ジャーナリズム専修コースへの出願を希望する場合は、ジャーナリストの経験があることが望まれます。

## 2 - 3 . 後期博士課程出願資格

次のいずれかに該当する者

1. 日本国内において、大学院修士課程または専門職学位課程（法科大学院を除きます）を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者
2. 法科大学院専門職学位課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者
3. 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月31日までに授与される見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. その他、修士課程または専門職学位課程を修了した者と同等以上の学力があるとして本大学大学院法学研究科が認めた者で、入学までに24歳に達する者

### 【注意事項】

1. 専攻に必要な科目の単位を取得していること（2027年3月末までに取得見込みを含みます）が必要です。
2. 出願資格 5 については、事前に「出願資格認定申請」が必要です。詳細はp.10を確認してください。
3. 出願資格のうち「見込み」による出願者については、入学試験に合格した後に、2027年3月31日までに出願資格を満たすことができないことが確定した場合は、入学の資格は取り消されます。

## 2 - 4 . 出願登録（インターネット）

指定の出願登録（インターネット）期間内に以下のサイトにアクセスの上、出願手続を行ってください。

修士課程・後期博士課程 <https://www.guide.52school.com/guidance/net-keio-g/>

※修士課程出願者のうち第1次試験免除対象者は、「試験区分の選択」画面で<一次試験免除>を選択してください。

※修士課程「公法学専攻専修コース（一般入試・社会人入試）」または「政治学専攻専修コース（一般入試）」出願者のうち、第1次試験「外国語」の代わりにTOEFLまたはTOEICのスコア提出を希望する者は、「志望専攻等の選択」画面で選択外国語「受験しない／TOEFL or TOEIC (alternative)」を選択してください。

※出願登録（インターネット）後は、受験生本人が登録内容の変更をすることはできません。登録を完了する前に必ず内容をよく確認してください。万が一、誤った情報を登録してしまった場合は、入学検定料の支払い前であれば、改めて初めから入力し直してください。支払い後であれば、再登録はせずに、学生部大学院入試担当までお問い合わせください。

## 2 - 5 . 出願期間

課程・時期	出願期間（※日本国内投函に限り、締切日消印有効）	受験票公開
修士課程秋期入試	2026年7月7日(火)～7月10日(金)	8月下旬 ※
修士課程春期入試 後期博士課程入試	2026年12月21日(月)～12月24日(木)	2月上旬 ※

※日本国内投函に限り、締切日消印有効です。国外からの郵送出願の場合は、締切日必着とします。

※本学からの受験票の送付はありません。修士課程秋期入試出願者は2026年8月28日(金)までに、修士課程春期入試・後期博士課程入試出願者は2027年2月12日(金)までに受験票が公開されない場合は、学生部大学院入試担当までお問い合わせください。

## 2-6. 出願書類の郵送

市販の封筒に出願書類全て（論文・論文要約を除く）を封入し、所定の【宛名ラベル】（※）を封筒の宛名面に貼付の上、「速達（簡易）書留」で郵送してください。日本国外から発送する場合は、国際スピード郵便(EMS)、FedEx、DHL等追跡のできるサービスで送付してください。出願の受付は郵送に限ります。窓口提出はできません。

いかなる理由があろうとも締切後は受理できません。締切日には十分注意し、余裕をもって発送してください。日本国外から発送する場合は、郵送期間を考慮し、出願期間開始前に書類が到着しても問題ありません。

また、出願書類の到着確認に関する問い合わせには応じられません。配送状況については郵送した際に受け取る受領証に記載の問い合わせ番号等を用いて自身で確認してください。

出願書類の一部は下記の慶應義塾大学ウェブサイト 大学院入学案内ページからダウンロードしてください。

修士課程 <https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/masters/gslaw/>

後期博士課程 <https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/doctoral/gslaw/>

### ●宛 先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学学生部 大学院入試担当 宛

※【宛名ラベル】は、「出願登録（インターネット）」、「入学検定料の支払い」が済んだ後、『申込確認』の画面にログインし、白色のA4用紙で印刷してください。

## 2-7. 入学検定料 35,000円 （サービス利用料 1,100円が別途かかります。）

入学検定料の詳しい支払方法に関しては、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/shared/pay-pattern/paygent-05.html>

### 【入学検定料の返金】

一度納入した入学検定料は、次の a または b の場合を除き、いかなる理由があっても返金しません。

- 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合（出願書類を送付しなかった、受理されなかった等）
- 入学検定料を誤って二重に納入した場合

上記 a または b に当てはまる場合、下記の期間内に学生部大学院入試担当までご連絡ください。コンビニエンスストア店頭での返金は一切できません。サービス利用料は返金の対象になりませんので、予めご了承ください。

<入学検定料返金請求受付期間> 各出願期間最終日より 1 週間以内

## 2-8. 出願書類

※ 一度提出した書類、論文等は、いかなる理由があっても返還・変更はできません。

※ 記載事項が事実と異なる場合や、その他不正がある場合は、受験資格および入学資格が取り消される可能性があります。

※ **証明書は原本または原本の複製であると公的に証明されたもの以外は受け付けられません。**

※ 書類はすべてA4用紙（またはそれに準ずるサイズ）で片面印刷（両面不可）してください。

※ ホチキス留めやクリップ留め、糊付けはしないでください。

※ 修士課程秋期入試と春期入試の両方を受験する場合（例：秋期入試不合格により春期入試も受験する場合）であっても、出願書類の提出が免除されることはありません。改めて全ての必要書類を提出してください。

※ 表中カテゴリー欄の記号は、次のとおりです。

○＝該当者全員が提出を必要とする書類

△＝該当者の中で、ある条件に当てはまる者が提出を必要とする書類

	書類名	修士	博士	注意事項
①	出願書類チェックリスト (所定用紙)	○	○	1) 慶應義塾大学ウェブサイト大学院入学案内ページから【出願書類チェックリスト】をダウンロードし、各書類が揃っていることを確認したら、チェック欄にチェックを入れ、出願書類に同封してください。 修士課程 <a href="https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/masters/gslaw/">https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/masters/gslaw/</a> 後期博士課程 <a href="https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/doctoral/gslaw/">https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/doctoral/gslaw/</a>
②	入学志願者調書	○	○	1) 入学検定料の支払いと顔写真のアップロード完了後に印刷が可能となります。出願登録(インターネット)の「申込確認」にログイン後、「申込一覧」画面から【入学志願者調書】をダウンロードし、印刷してください。 2) 顔写真の条件は以下のとおりです。合格者については、アップロードされた写真を学生証用写真として使用します。 ・鮮明なカラー画像であること(白黒画像は不可)。 ・肩から上の上半身、正面、無帽で背景や枠がないもの。 ・背景は、白、青またはグレーを基調とした無地であること(背景が風景やカーテンなどは不可)。 ・画像データの形式は「JPEG」であること(ファイル拡張子はjpg)。 ・画像データのサイズは100KB以上、5MB以下であること。 ※画像に加工・修正を施したものは使用できません(証明写真作成用アプリを用いて撮影したものを含む)。画像に加工・修正が施されており、試験当日に本人照合ができない場合は、受験を認めません。 3) 出力された情報以外(「-」が表示されている項目)は何も記入しないでください。 4) 修士課程第1次試験免除対象者は、志願者調書の「入試制度」欄に「一次試験免除」と記載されていることを確認してください。 5) 修士課程「公法学専攻専修コース(一般入試・社会人入試)」または「政治学専攻専修コース(一般入試)」出願者のうち、第1次試験「外国語」の代わりにTOEFL iBT®またはTOEIC® Listening and Reading Testのスコア提出を希望する者は、入学志願者調書の試験内容「選択外国語」の欄に「受験しない/TOEFL or TOEIC (alternative)」と記載されていることを確認してください。 6) 通信課程を卒業・修了した者は、学歴入力欄にて「通信課程」を選択してください。 7) 学歴欄には、学位を取得した学歴のみを入力してください。また、学歴欄に入力した大学・大学院については、下記⑥および⑦の全ての証明書を必ず提出してください。提出がない場合は、学歴として認められません。
③	入学志願者調書B (所定用紙)	○	○	1) 慶應義塾大学ウェブサイト大学院入学案内ページから【入学志願者調書B】をダウンロードしてください。 2) 手書きで記入する場合は、ペン(黒か青のインク。ボールペンも可)で丁寧に記入してください(消すことのできるペンや鉛筆書きは不可)。あるいは、ダウンロードしたWordファイルに直接タイプしてからプリントアウトしても構いません。 3) 所定のページ数・枠内に収まるようにしてください。ページの追加や別紙の添付は不可です。 4) 「学歴」欄は、中学校卒業から高校卒業までを記入してください。 5) 卒業論文を作成しなかった場合は、大学で関心を持って研究したテーマとその内容を記入してください。「指導教員名」欄には研究会(ゼミ)の担当教員名を記入してください。研究会に所属していなかった場合は、特に指導を仰いだ教員名を記入してください。 6) 整理番号欄にご自身の整理番号(3Vまたは3Wで始まる番号)を記入してください。 7) 専修コース社会人入試出願者は、4枚目に自身の「社会人経験について」を記入してください。 8) 4枚目の「署名」欄に日付を入れて署名してください。
④	学部成績証明書	○	○	1) 卒業見込みの者または修了見込みの者は、出身大学または大学院入学から前学期(発行できない場合は前学年)までの成績が記載された「成績証明書」を提出してください。 2) 学士入学・編入学をした者は、編入前の大学/学部の「成績証明書」も併せて提出してください。他大学の認定科目がある場合は、認定元の大学の「成績証明書」も提出してください。 3) 修士課程民法法学専攻または公法学専攻に出願する者(社会人入試出願者と専修コース出願者を除く)は、専攻する科目4単位以上を含む法学関係の専門科目16単位分の科目について、「成績証明書」記載の科目名を○印で囲んでください。また、16単位の科目の中に履修中の科目がある場合、あるいは修士課程一般入試出願資格 6 に該当する場合は、「成績証明書」に加えて「履修科目証明書」を提出し、同様に該当の科目名を○印で囲んでください。 4) 日本語または英語で記載された証明書を提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は和訳または英訳し、その翻訳内容が原本と相違ないことについて、出身大学等の所在する国の大使館や公証処で証明を受け、その証明と併せて提出してください。 5) 証明書の氏名が出願時と異なる場合(例:旧姓)は、戸籍抄本を提出してください。 6) 厳封は不要です。
⑤	修士成績証明書 ※後期博士課程入試出願者のみ	○	○	
⑥	卒業証明書または卒業見込証明書	○	○	1) 卒業見込みの者は「卒業証明書」の代わりに「卒業見込証明書」を、修了見込みの者は「修了証明書」の代わりに「修了見込証明書」を提出してください。 2) 修士課程一般入試出願資格 6 に該当する場合は、「卒業証明書」の代わりに「在学証明書」を提出してください。 3) 後期博士課程出願者のうち、いわゆる飛び級で修士課程に入学した者は、「卒業証明書」の代わりに学部の「退学証明書」を提出してください。
⑦	修了証明書または修了見込証明書 ※後期博士課程出願者のみ	○	○	

			<p>4) 証明書の氏名が出願時と異なる場合（例：旧姓）は、戸籍抄本を提出してください。</p> <p>5) 中国大陸の大学を卒業・修了した者は、卒業証明書・修了証明書に加えて、「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」（英文）を提出してください（中国教育部のウェブサイト&lt;<a href="http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp">www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp</a>&gt;へ登録、PDFファイルで入手し、印刷すること）。また、出願登録（インターネット）学歴欄の入学・卒業年月日には、「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」に記載されている入学・卒業年月日を入力してください。</p> <p>6) 厳封は不要です。</p>	
⑧	学位取得証明書 または学位取得 見込証明書	○	○	<p>1) 日本国外の大学を卒業（修了）した出願者で、卒業（修了）証明書または成績証明書に取得学位が記載されていない場合は、学位取得（見込）証明書を提出してください。</p> <p>2) 日本語または英語で記載された証明書を提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は和訳または英訳し、その翻訳内容が原本と相違ないことについて、出身大学等の所在する国の大使館や公証処で証明を受け、その証明と併せて提出してください。</p> <p>3) 証明書の氏名が出願時と異なる場合（例：旧姓）は、戸籍抄本を提出してください。</p> <p>4) 厳封は不要です。</p>
⑨	志願者に関する 報告書（所定用 紙）	○	○	<p>1) 修士課程出願者は出身大学学部での指導教員またはそれに準ずる教員（日本語学校での教師を除く）、後期博士課程出願者は修士課程での指導教員による報告書を提出してください。所定用紙を使って作成、厳封（封緘部分にまたがって作成者が署名）されたもののみ有効です。<u>厳封のないものは、出願書類として受け付けられません。</u></p> <p>2) なお、修士課程出願者または専門職大学院出身の後期博士課程出願者のうち、上記に該当する作成者がいない場合は、他に出願者の研究を行う上での資質や適性を評価し得る者でも可とします。</p> <p>3) 報告書は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成されている場合は和訳し、その翻訳内容が原本と相違ないことについて作成者本人が大使館・公証処で証明を受けてください。</p> <p>4) 作成者が直筆で署名した報告書のみが有効です。本報告書に関しては必要に応じて作成者に内容照合を行う場合があります。</p>
⑩	国費外国人留学生証明書	△	△	1) 国費留学生の方は、国費外国人留学生証明書を提出してください。
⑪	語学試験の結果 ※修士課程出願者該 当者のみ	△		<p>1) TOEFL iBT®または TOEIC® Listening and Reading Testの<u>どちらか1つ</u>を提出してください。</p> <p>2) <u>以下に該当する 修士課程出願者のみ 提出が必要です。</u></p> <p>①公法学専攻専修コース（一般入試）および政治学専攻専修コース（一般入試）において、第1次試験「外国語」の代わりに、上記語学試験の結果の提出を希望する者</p> <p>※p.5「2-4. 出願登録（インターネット）」に記載のとおり、「志望専攻等の選択」画面で選択外国語「受験しない/TOEFL or TOEIC (alternative)」を必ず選択してください。</p> <p>※推薦制度による出願者は、提出不要です。</p> <p>②公法学専攻専修コース（社会人入試）出願者（外国語の筆記試験を実施しないため）</p>
	「TOEFL iBT®」			<p>1) Test Taker Score Reportのコピーを元に、オンライン上でスコアの確認を行います。<u>以下④⑤の2点を必ず提出してください。</u></p> <p>④ Official Score Report（試験実施期間(ETS)から慶應義塾大学へ送付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験申込時または受験後、必ず試験実施機関（ETS）から慶應義塾大学へOfficial Score Report（データ）を直接送付する手順を取ってください。</li> <li>・慶應義塾大学の登録コード番号（Institution Code）は「0773」です。Department Codeは「84」を選択してください。</li> <li>・期限までに閲覧可能になるよう十分な日程の余裕を持って受験をし、スコアの送付手順を完了してください。</li> <li>・Official Score Reportの到着状況に関する問い合わせには応じられません。</li> <li>・TOEFL My Best Scoreは受け付けられません。</li> </ul> <p>⑤ Test Taker Score Reportのコピー（出願者から慶應義塾大学に提出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFL-IPT のスコアやインターネットによる結果確認画面のプリントアウトは、出願書類として認めません。</li> </ul> <p>2) 有効期間：次の①および②の両方を満たしている必要があります。</p> <p>①受験期間</p> <p>秋期入試出願者：2024年8月1日以降に受験したもの</p> <p>春期入試出願者：2025年1月1日以降に受験したもの</p> <p>②到着期限 各出願期間最終日</p>
	「TOEIC® Listening and Reading Test」			<p>1) 【日本国内でTOEICを受験した方】</p> <p>公式認定証のコピーを元に、オンライン上でスコアの確認を行います。<u>以下④⑤の2点を必ず提出してください。</u></p> <p>④ TOEIC申込サイトからのスコア提出（試験実施機関から慶應義塾大学へ送付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験後、「公開テスト スコア確認サービス」を利用し、必ず試験実施機関から慶應義塾大学へスコア（データ）を直接送付する手順を取ってください。</li> <li>・慶應義塾大学大学院法学研究科の申請コードは「00039701」です。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・期限までに閲覧可能になるよう十分な日程の余裕を持って受験をし、スコアの送付手続を完了してください。</li> <li>・スコアの到着状況に関する問い合わせには応じられません。</li> <li>⑨ 公式認定証のコピー（出願者から慶應義塾大学に提出）</li> <li>・TOEIC団体特別受験制度によるIPスコアやインターネットによる結果確認画面のプリントアウトは、出願書類として認めません。</li> </ul> <p>【日本以外の国でTOEICを受験した方】</p> <p>Official Score Certificate（公式認定証）の原本を提出してください。</p> <p>2)有効期間</p> <p>秋期入試出願者：2024年8月1日以降に受験したもの 春期入試出願者：2025年1月1日以降に受験したもの</p>	
⑫	修士論文またはこれに代わる論文 ※後期博士課程出願者のみ	○	1) 出願登録（インターネット）の申込み確認画面「提出書類アップロード」より、画面の手順に従ってPDFファイルをアップロード・提出してください。 2) アップロード・提出は、p.3に記載の締切までに行ってください。期間内に「提出」ボタンが押下されていない場合、ファイルは提出されたことになりません。ご注意ください。 3) 各書類、1ファイルのみアップロード可能です。 3) 1ページ目に氏名と論文タイトル、論文/要約どちらなのかがわかるように明記してください。②入学志願者調書の「論文（要旨）タイトル」欄に、論文タイトルを入力してください。 4) 容量が50MBを超過する場合のみ、メール添付（宛先： <a href="mailto:grad-admission@adst.keio.ac.jp">grad-admission@adst.keio.ac.jp</a> ）で提出してください。 5) 日本語または英語で書かれた修士論文を提出してください。修士論文を提出しない課程を修了した場合は、修士論文に代わる論文を提出してください。 6) 日本語または英語以外の言語で書かれた修士論文により修士号を取得した者は、(a)その修士論文と、(b)その修士論文を日本語または英語に翻訳したものを提出してください。 7) 要約は、8,000字程度の分量で、必ず日本語で作成してください。 8) 2027年3月に本大学大学院法学研究科修士課程修了見込みの者は提出不要です。
⑬	上記論文の要約 ※後期博士課程出願者のみ		

### <希望指導教員一覧>

#### 【注意事項】

1. 希望指導教員一覧に記載されていない教員を希望指導教員として出願することはできません。
2. ※印がついている教員は、修士課程のみ希望指導教員として出願することができます（後期博士課程では希望指導教員として出願することはできません）。
3. ●印がついている教員は 2027 年度留学または研究休暇取得予定です。
4. \*印がついている教員は 2027 年度末退職予定です。
5. 公法学専攻宇宙法専修コース志願者は、☆印がついている教員を希望指導教員として出願してください。
6. 政治学専攻の各専修コース志願者は、当該コースの目的やカリキュラムに見合った研究指導を受けられる教員を希望指導教員として出願してください。

専攻	氏名	専攻	氏名	専攻	氏名	専攻	氏名
民事法学	大塚 智見※	公法学	青木 淳一	政治学	井上 正也	政治学	竹ノ下 弘久
	大濱 しのぶ*		石塚 壮太郎		大串 敦		谷口 尚子
	北澤 安紀		漆 さき※		大久保 健晴		田上 雅徳*
	君嶋 祐子		太田 達也		岡山 裕		築山 宏樹●
	坂口 甲		オステン フィリップ		小川原 正道		津田 正太郎
	杉田 貴洋●		亀井 源太郎		奥 健太郎		堤林 剣●
	田高 寛貴		佐藤 拓磨		小田 勇樹※		錦田 愛子●
	松元 暢子		武井 良修※		笠井 賢紀		西野 純也
	南 健悟		竹内 悠※☆		柏原 宏紀		細谷 雄一
	武川 幸嗣		戸部 真澄		烏谷 昌幸		舛方 周一郎※
	柳 明昌		藪中 悠※		小嶋 華津子		松浦 淳介※●
民事法学 ・公法学	板持 研吾	公法学・政治学	大林 啓吾	近藤 春生	宮岡 勲		
	大屋 雄裕			塩原 良和	森 聡		
	佐伯 昌彦			杉木 明子	山腰 修三		
	出口 雄一			詫摩 佳代	山本 信人●		
	林 健太郎※						
	淵川 和彦※						
	前田 美千代						
藪本 将典※							

<希望指導教員への事前問い合わせについて>

希望指導教員の研究分野については、以下のウェブサイトを確認することができます。

法学研究科ウェブサイト <https://www.gs.law.keio.ac.jp/index.html>

希望する研究分野が教員の指導できる範疇にあるかどうかについては、以下のフォームにより、希望する指導教員に事前に問い合わせることができますが、出願書類作成に関する助言や入試全般に関する問い合わせには、お答えできません。

なお、この事前問い合わせは任意であるため、相談の有無や内容によって、入試の合否に影響することはありません。また、必ずしも教員から回答があるとは限りません。

(希望指導教員問い合わせフォーム) <https://forms.gle/hlFBVvgJvVhZjvUk8>

## 2-9. 受験票発行のお知らせと印刷

出願登録(インターネット)により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、その旨をメールでお知らせすると同時に受験票公開期間をお知らせします。受験票公開期間中(p.5を参照)に受験票PDFを白色のA4用紙縦向きで印刷し、折り線部分で折った上で試験当日に必ず持参してください。

本学からの受験票の送付はありません。 秋期入試出願者は2026年8月28日(金)までに、春期入試出願者は2027年2月12日(金)までに受験票が公開されない場合は、学生部大学院入試担当までお問い合わせください。

受験票を印刷したら、氏名・受験研究科その他の記載内容が出願した内容と相違ないかを確認してください。万が一記載に誤りがある場合は、学生部大学院入試担当に連絡してください。

## 2-10. 出願資格認定申請 **対象者のみ(p.4~5を参照し、該当する受験者のみ申請すること)**

修士課程一般入試出願資格 6 または 8、後期博士課程出願資格 5 に該当する場合については、出願前に出願資格の審査が必要です。 それ以外の出願資格に該当する場合は、申請不要です。 なお、出願資格審査には入学検定料は必要ありません。

### ●出願資格認定申請受付期間

修士課程秋期入試	修士課程春期入試・後期博士課程入試
2026年6月16日(火)~6月18日(木)	2026年11月24日(火)~11月26日(木)

### ●提出書類

- 1 出願資格認定申請書(所定用紙)
  - 2 出願資格認定申請用履歴書(所定用紙)(学歴は小学校から記入してください。)
  - 3 最終学歴を証明する書類(卒業証明書、修了証明書など)
  - 4 出願資格認定申請理由書(書式は自由。研究歴、業績等がある場合にはそれも含めて、大学を卒業した者あるいは大学院修士課程を修了した者と同等以上の学力があると考える理由を記述してください。なお、業績に関する参考資料があれば添付してください。)
- ※ 卒業証明書、修了証明書等の証明書が日本語または英語以外の言語で書かれている場合は、和訳または英訳し、その翻訳内容が原本と相違ないことについて、出身大学等の所在する国の大使館や公証処で証明を受けてください。
- ※ 所定用紙は下記ウェブサイトからダウンロードしてください。  
<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/other/eligibility/>
- ※ 審査結果は、2週間を目処にメールでお知らせします。

### ●提出先

必要書類(PDF)をメールに添付し、ご提出ください。<書類提出先> [grad-admission@adst.keio.ac.jp](mailto:grad-admission@adst.keio.ac.jp)

## 3. 入学試験日程および試験会場

### 修士課程秋期入試

項目	日時	試験会場(キャンパス)・発表場所
第1次試験(筆記試験)	2026年9月16日(水) 9:15 集合	三田キャンパス [※ 1]
第1次試験合格発表	2026年9月16日(水) 19:00	オンライン合格発表 [※ 2] [※ 3]

第2次試験（口頭試問）	2026年9月17日(木)	三田キャンパス [※ 2]
合格発表	2026年9月17日(木) 19:00	オンライン合格発表 [※ 3]

## 修士課程春期入試 および 後期博士課程入試

項目	日時	試験会場（キャンパス）・発表場所
第1次試験（筆記試験）	2027年2月26日(金) 9:15 集合	三田キャンパス [※ 1]
第1次試験合格発表	2027年2月26日(金) 19:00	オンライン合格発表 [※ 2] [※ 3]
第2次試験（口頭試問）	2027年2月27日(土)	三田キャンパス [※ 2]
合格発表	2027年2月27日(土) 19:00	オンライン合格発表 [※ 3]

[※ 1] 第1次試験（筆記試験）の試験場（校舎）・試験教室は、試験当日に三田キャンパス内の掲示でお知らせします。試験教室には、8:45 から入室が可能です。

[※ 2] 第1次試験合格発表の際に第2次試験の集合時間・場所を指示します。第1次試験を免除された受験者も必ず合格発表を確認してください。集合時間に出席の確認ができない場合は、受験は認められませんのでご注意ください。

[※ 3] 可否結果は「[オンライン合格発表](#)」で確認してください。

### 公共交通機関（バス、タクシーを除く）の乱れ・遅れによる遅刻の扱い

試験会場周辺の公共交通機関に大幅な乱れ・遅れが生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障を来さない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

試験当日に試験開始時間の変更がある場合は、下記ウェブサイトでお知らせします。

慶應義塾大学 大学院入学案内：<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/>

### 受験を目的とした入国手続について

国外出願者には、受験者の必要に応じて「受験許可証」を発行します。受験を目的とするビザを取得する際などに「受験許可証」が必要な場合は、以下のウェブサイトに記載のフォームから申請してください。

入国手続および在留資格の変更・更新について：<https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/other/visa/>

## 4. 入学試験方法

### 修士課程一般入試（秋期・春期）

#### 第1次試験 筆記試験

【試験科目】

外国語・専門科目は、志望する専攻・コースにより受験する科目が異なります。

専攻	外国語	専門科目
民法法学専攻	以下から1か国語（母国語を除く）選択 英語、日本語	以下から1科目選択 民法、商法、民事訴訟法、労働法、法制史、経済法、国際私法、知的財産法
公法学専攻 （専修コース以外）	※上記以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語、ロシア語、アラビア語等）を希望する場合は、秋期入試は6月末日、春期入試は11月末日までに母国語および受験を希望する言語を申し出てください。	以下から1科目選択 憲法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、国際法、行政法、法制史、経済法、租税法、労働法、環境法

公法学専攻 (専修コース)	以下から 1 か国語 (母国語を除く) 選択 英語、日本語 ※外国語を受験する代わりに、TOEFLまたはTOEICのスコア提出も可。 ※上記以外の外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語、ロシア語、アラビア語等) を希望する場合は、秋期入試は 6 月末日、春期入試は 11 月末日までに母国語および受験を希望する言語を申し出てください。	以下から 1 科目選択 憲法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、国際法、行政法、法制史、経済法、租税法、労働法、環境法、宇宙法政策
政治学専攻 (専修コース以外)	以下から 1 か国語 (母国語を除く) 選択 英語、日本語 ※上記以外の外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語、ロシア語、アラビア語等) を希望する場合は、秋期入試は 6 月末日、春期入試は 11 月末日までに母国語および受験を希望する言語を申し出てください。	以下から 1 科目選択 政治思想、政治理論、社会学、日本政治、国際政治学、地域研究※地域研究は、スラヴ・ユーラシア(旧ソ連)、アジア、アフリカ、中東、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アメリカ合衆国のうち1地域を選択
政治学専攻 (専修コース)	英語 ※英語を受験する代わりに、TOEFL または TOEIC のスコア提出も可。	以下の 各 1 科目 公共政策専修コース……公共政策 ジャーナリズム専修コース……ジャーナリズム

### 【時間割】

時間割		民法法学専攻	公法学専攻	政治学専攻
1 時限	9:30~10:30	外国語 ( 1 か国語)	外国語 ( 1 か国語)	外国語 ( 1 か国語) ※専修コースは英語
2 時限	11:00~12:00	専門科目 ( 1 科目)	専門科目 ( 1 科目)	専門科目 ( 1 科目)

### 【注意事項】

- 必ず受験票を持参し、試験開始 15 分前 (9:15) までに試験教室に集合してください。  
ただし、以下の出願者のうち、外国語 (政治学専攻専修コースは英語) 受験に代えて、TOEFLまたはTOEICのスコアを提出した者は、10:40までに受験生控室に集合してください。  
・公法学専攻専修コース (一般入試)                      ・政治学専攻専修コース (一般入試)
- 外国語 (母国語選択不可) を受験する際には、一般的な語学辞書の使用を認めます。ただし、マークを含む書込みがあるものや付箋類を付したもの、あるいは電子媒体を用いた辞書は使用できません。
- 民法法学専攻または公法学専攻の受験者は、専門科目の受験の際に、次に掲げる法令集に限って使用することができます。ただし、マークを含む書込みのあるものや付箋類を付したものは使用できません。  
・『六法全書』 (有斐閣)                      ・『ポケット六法』 (有斐閣)                      ・『司法試験用六法』 (第一法規)  
・『デイリー六法』 (三省堂)                      ・『法学六法』 (信山社)
- 解答は、ペン (黒か青のインク。ボールペンも可) を使用してください。解答を修正する場合は、修正箇所にて二重取消線を引いてください。修正液・修正テープ等を使用しても構いません。
- 語学辞書、法令集、筆記具の貸出しは行いません。
- 特別な指示のある場合を除き、原則として答案は日本語で作成してください。

## 第 2 次試験 学力に関する口頭試問 および 提出書類の総合評価

第 2 次試験の詳細 (集合時間・場所) は、第 1 次試験合格発表時にウェブサイト上でお知らせします。第 1 次試験を免除された受験者も必ず合格発表を確認してください。集合時間に出席の確認ができない場合は、受験は認められませんのでご注意ください。

## 修士課程 社会人入試 (専修コースのみ) (秋期・春期)

### 第 1 次試験 筆記試験

#### 【試験科目】

外国語の筆記試験は行いません。代わりに、公法学専攻専修コース出願者は、必ず TOEFL または TOEIC のスコアを提出してください。政治学専攻専修コース出願者は、スコア提出は不要です。

専門科目は、志望する専攻により受験する科目が異なります。

専攻	専門科目
公法学専攻 宇宙法専修コース	以下から 1 科目選択 憲法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、国際法、行政法、法制史、経済法、租税法、労働法、環境法、宇宙法政策
政治学専攻 公共政策専修コース	公共政策 (他の科目は選択できません)

政治学専攻 ジャーナリズム専修コース	ジャーナリズム（他の科目は選択できません）
-----------------------	-----------------------

【時間割】

時間割		公法学専攻	政治学専攻
1 時限	9:30~10:30	—	—
2 時限	11:00~12:00	専門科目（1科目）	専門科目（1科目）

【注意事項】

- 必ず受験票を持参し、試験開始 20 分前（10:40）までに受験生控室に集合してください。
- 公法学専攻の受験者は、専門科目の受験の際に、次に掲げる法令集に限って使用することができます。ただし、マークを含む書込みのあるものや付箋類を付したものは使用できません。
  - ・『六法全書』（有斐閣）
  - ・『ポケット六法』（有斐閣）
  - ・『司法試験用六法』（第一法規）
  - ・『デイリー六法』（三省堂）
  - ・『法学六法』（信山社）
- 解答は、ペン（黒か青のインク。ボールペンも可）を使用してください。解答を修正する場合は、修正箇所にて二重取消線を引いてください。修正液・修正テープ等を使用しても構いません。
- 法令集、筆記具の貸出しは行いません。
- 特別な指示のある場合を除き、原則として答案は日本語で作成してください。

第 2 次試験 学力に関する口頭試問 および 提出書類の総合評価

第 2 次試験の詳細（集合時間・場所）は、第 1 次試験合格発表時にウェブサイト上でお知らせします。集合時間に出席の確認ができない場合は、受験は認められませんのでご注意ください。

後期博士課程入試

第 1 次試験 筆記試験（外国語）

専攻	外国語
民法法学専攻 公法学専攻	以下から 1 か国語（母国語を除く）選択 英語、日本語 ※上記以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語、ロシア語、アラビア語等）を希望する場合は、11 月末日までに申し出てください。
政治学専攻	英語

【時間割】

時間割		民法法学専攻	公法学専攻	政治学専攻
1 限	9:30~10:30	外国語（1か国語）		英語

【注意事項】

- 本大学大学院法学研究科修士課程を修了した者および修了見込みの者は、第 1 次試験を免除します。
- 筆記試験受験者は、必ず受験票を持参し、試験開始 15 分前（9:15）までに試験教室に集合してください。
- 外国語（母国語選択不可）を受験する際には、一般的な語学辞書の使用を認めます。ただし、マークを含む書込みがあるものや付箋類を付したもの、あるいは電子媒体を用いた辞書は使用できません。
- 解答は、ペン（黒か青のインク。ボールペンも可）を使用してください。解答を修正する場合は、修正箇所にて二重取消線を引いてください。修正液・修正テープ等を使用しても構いません。
- 語学辞書、筆記具の貸出しは行いません。
- 特別な指示のある場合を除き、原則として答案は日本語で作成してください。

第 2 次試験 学力に関する口頭試問 および 提出論文、成績証明書、その他の書類の総合評価

第 2 次試験の詳細（集合時間・場所）は、第 1 次試験合格発表時にウェブサイト上でお知らせします。第 1 次試験を免除された受験者も必ず合格発表を確認してください。集合時間に出席の確認ができない場合は、受験は認められませんのでご注意ください。

## 受験上の注意〔修士課程入試および後期博士課程入試 共通〕

1. 試験場および試験教室では、試験監督者の指示に従ってください。
2. 試験時間中は退室を認めません。ただし、試験時間中に身体の具合が悪くなった等やむを得ない場合は、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください（その分の試験時間延長はありません）。
3. 時計は各自持参してください（試験場および試験教室には時計はありません。時計の貸出しは行いません）。ただし、翻訳・計算機能など一般的な時刻表示以外の機能をもつ時計の持込みは認めません。また、時計のアラームを使用してはいけません。携帯電話・スマートフォン等を時計として使用することも認めません。
4. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子通信機器は電源を切ったかばんの中に入れてください。
5. 試験教室において以下の時刻を遅刻限度として受験を認めます。ただし、試験時間の延長はありません。
  - ・第1時限：試験開始後20分
  - ・第2時限：試験開始時刻上記に示す各時限の遅刻限度を超えた場合、受験はできません。また、第1時限を受験しなかった場合、第2時限の受験はできません。
6. 以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督者が注意もしくは事情を聴取することがあります。その際に要した試験時間の延長はできません。不正行為が認められた場合、それ以降の受験はできなくなります。また、当該研究科の入学試験および当該年度における本大学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返金されません。
  - ・カンニング(カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
  - ・使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
  - ・試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に、筆記具を持ち、また、問題冊子を開き、解答を始めること。
  - ・試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記具を持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
  - ・試験時間中に、答えを教えるなどの他の受験生を利するような行為をすること。
  - ・試験時間中に、携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチ等の電子通信機器を身に付けていること。
  - ・試験時間中に、時計、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の音（着信、アラーム、振動音など）を鳴らすこと。
  - ・試験場および試験教室において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
  - ・試験場および試験教室において、試験監督者の指示に従わないこと。
  - ・志願者以外の者が、志願者本人になりすまして受験すること。
  - ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

### ●学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治療していない者は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。なお、上記により受験できなかった場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返金はありません。

## 5. 合否判定方法・基準

合否は、出願時に提出された書類、筆記試験および口頭試問の結果を総合的に評価した上で、研究科委員会において決定されます。各評価項目の比重は専攻の特性に応じて設定されており、受験者の学問的能力、研究遂行の可能性および志望理由の妥当性を多角的に審査します。

## 6. 合格発表

合否結果については、以下のサイトにアクセスし、「オンライン合格発表」ボタンより確認してください。その際、受験番号とセキュリティコードが必要です。合格発表日時は上記の「3. 入学試験日程および試験会場」で確認してください。合否結果について、電話等でのお問い合わせには一切応じることができません。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-keio-g/>

## 7. 入学手続

### 7-1. 入学手続の案内

本学からの入学手続書類の送付はありません。詳細は入学手続画面に掲載する「入学手続要項」をご確認ください。

入学手続画面：<https://www.guide.52school.com/guidance/enrollment-keio-g/>

修士課程秋期入試合格者は2027年1月中旬以降、修士課程春期入試・後期博士課程入試合格者は合格発表日の翌営業日以降、順次、入学手続画面へのログインが可能となります。

### 7-2. 手続期間・方法

入学手続は、次の3つの手続を済ませることにより完了します。

①入学に必要な費用の振込み ②必要事項の入力 ③手続書類の提出（郵送）

所定の手続期間内に入学に必要な手続を部分的にしか行っていない場合、もしくは全く行っていない場合は、いかなる事情があったとしても、入学意思を放棄したものととして入学手続は認められず、入学の資格を失うことになります。締切日には十分に注意してください。

入学手続期間 2027年3月1日(月)～5日(金) ※日本国内投函に限り、締切日消印有効

## 8. 入試統計（過去5年間の入試結果）

### 修士課程

専攻	2022 年度		2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
民事法学	57	14	72	9	88	18	112	14	76	8
公法学	23	10	43	16	35	9	31	12	21	8
政治学	101	28	120	38	164	30	135	28	102	33

### 後期博士課程

専攻	2022 年度		2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026年度	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
民事法学	9	3	3	0	4	1	6	2	6	4
公法学	8	5	9	6	5	3	17	12	7	6
政治学	5	4	9	4	11	8	17	13	9	7

※いずれも一般入試（社会人入試を含む）と外国人留学生入試（2024年度まで）の合計です。

## 9. 入学に必要な費用・奨学制度など

### 9-1. 入学に必要な費用

2027年度入学者の「入学に必要な費用」は未定ですが、2026年度の「入学に必要な費用」は以下のとおりです。

2026 年度（修士課程）

（単位：円）

		文学研究科	経済学研究科	法学研究科	社会学研究科	商学研究科
学費	在籍基本料	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	授業料	1,070,000	1,070,000	1,070,000	1,070,000	1,070,000
その他の費用		4,200※	9,200	50,200*	4,200	10,700
初年度納付金合計		1,144,200	1,149,200	1,190,200	1,144,200	1,150,700

		文学研究科	経済学研究科	法学研究科	社会学研究科	商学研究科
学費	在籍基本料	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	授業料	740,000	740,000	740,000	740,000	740,000
その他の費用		4,200※	9,200	50,200*	4,200	10,700
初年度納付金合計		814,200	819,200	860,200	814,200	820,700

- ① 学生健康保険互助組合加入費を除いた学費およびその他の費用は、春学期・秋学期に分けて分納できます。ただし、その他の費用の一部は分納扱いせず、春学期に一括して徴収します。春学期に学費およびその他の費用を分納した場合、秋学期分の学費納入手続については10月中旬にご案内します。秋学期分の学費の納付期限は10月末日です。なお、入学後の学費納付に関しては、慶應義塾財務部(E-mail: keio\_tuition@info.keio.ac.jp)にお問い合わせください。
- ② 法学研究科\*の印がついた費用には、学位論文作成のための論文刊行費(36,000円)を含みます。
- ③ 義塾が委託されて徴収する費用(研究会会費・雑誌購読料・学会誌配付費用、三田学会雑誌・研究活動関連費用、論文刊行費、学生自治会費、学生健康保険互助組合費)は、在学中に年度により必要に応じて改定されることがあります。
- ④ 学生健康保険互助組合費には加入費100円を含みます。ただし、本大学院研究科を修了し引き続き他研究科に入学する場合、および本大学院修士課程を修了し、1年を経過せずに後期博士課程に入学する者の加入費は不要です。
- ⑤ 在籍基本料、授業料、については、在学中中学則に定めるスライド制を適用し毎年定められた額を納入することとなりますので、あらかじめご承知おきください。なお、適用するアップ率はスライド率(人事院勧告による国家公務員給与のアップ率)を基準とします。
- ※ 文学研究科は「その他の費用」の一部として、所属する専攻の研究会会費・雑誌購読料を各々徴収します(表中には含まれていません)。各専攻の研究会会費・雑誌購読料の金額は以下のとおりです。  
全専攻 2,500円

## 9-2. 入学辞退・授業料などの返金

納入された費用は原則として返金しません。ただし、全ての入学手続完了後、決められた日時までに所定の方法により入学辞退の手続を完了した場合に限り、納入された費用を全額返金します。

なお、提出された書類に事実と異なる記載があった場合や不正に取得した証明書が提出されたこと等が確認された場合は、入学の資格が取り消されることがあります。その場合、それまでに納入された費用については一切返金しません。

## 9-3. 奨学制度

成績・人物ともに優秀な学生で、研究の意欲を持ちながらも、経済的な理由により修学が困難な学生を対象に、慶應義塾大学大学院では、次のような奨学制度を設けています。詳しくは、各ウェブサイトをご覧ください。

- ・日本国籍等の学生対象：<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/apply/form.html>
- ・外国人留学生対象：[https://www.ic.keio.ac.jp/intl\\_student/scholarship/intl\\_student.html](https://www.ic.keio.ac.jp/intl_student/scholarship/intl_student.html)

奨学金名		種別	金額(前年度実績)	対象者(※1)	期間
学内	慶應義塾大学大学院奨学金	給付	年額500,000円または600,000円 (金額は研究科で異なる)	日本国籍等の学生 外国人留学生	1年
	慶應義塾大学修士支援奨学金	給付	学費の範囲内(平均支給額：年額約300,000円)	日本国籍等の学生 外国人留学生	1年
	研究のすゝめ奨学金 (申請時期・条件等は研究科で異なる)	給付	年額300,000円・500,000円・700,000円(金額は研究科で異なる)	研究科で異なる	1年
	小泉信三記念大学院特別奨学金	給付	月額30,000円	日本国籍等の学生 外国人留学生	1年
	未来先導国際奨学金(入学前申請)	給付	学費全額、生活費月額200,000円 渡航費補助を含む留学準備一時金150,000円	外国人留学生	※2
	各種指定寄付奨学金 (詳細は上記ウェブサイトをご参照下さい。)	給付	年額100,000円～学費の範囲内	日本国籍等の学生 外国人留学生	1年
学外	日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金(貸与無利子)	貸与	修士課程 月額50,000円または88,000円 後期博士課程 月額80,000円または122,000円	日本国籍等の学生	標準修業 年限
	日本学生支援機構奨学金 授業料後払い制度(貸与無利子)	貸与	授業料相当額の奨学金：最大776,000円に保証料相当額を加えた金額 生活奨学金：20,000円、40,000円から選択(希望者のみ)	日本国籍等の学生 (修士課程のみ)	標準修業 年限
	日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金(貸与有利子)	貸与	月額50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円 (金額は本人が選択)	日本国籍等の学生	標準修業 年限
	文部科学省外国人留学生学習奨励費	給付	月額48,000円	外国人留学生	1年以内
	民間団体・地方公共団体の各種奨学金 (詳細は上記ウェブサイトをご参照下さい。)	給付 貸与	奨学団体の規定による	日本国籍等の学生 外国人留学生	奨学団体 による

日本学生支援機構「特に優れた業績による奨学金返還免除」修士課程内定制度については下記ウェブサイトをご参照ください。  
<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/mnenjo.html>

金額等については変更することがあります。詳細は在籍キャンパスのウェブサイトでご確認ください。

※1 対象者の「日本国籍等の学生」には、外国籍の場合、永住者・定住者等の在留資格を有する者を含む。また、「外国人留学生」とは、在留資格「留学」を有する者をいう。

※2 原則、修士課程は2年間、博士課程・専門職学位課程は3年間を上限とする。ただし、給付期間内に給付時の在籍課程の学位を取得した場合はその取得時まで、標準修業年限を終える場合は標準修業年限を終える時までとする。

上記以外に「慶應義塾大学教育ローン制度」が設置されています。

<慶應義塾大学教育ローン制度> 学生または保護者などが、提携先金融機関から学費を借り入れる学費ローンです。融資条件等は金融機関によって異なり、申請は大学を通さず直接金融機関で行っていただきます。

奨学制度問い合わせ先

慶應義塾大学学生部 福利厚生支援担当

#### 9-4. 慶應義塾教育振興資金（寄付金）・慶應義塾債（学校債）について

慶應義塾教育振興資金 年額 一口3万円（二口以上のご協力をお願いいたします。）

慶應義塾債 一口10万円（三口以上のご協力をお願いいたします。）

大学院修了時または慶應義塾を離籍される時に償還いたします。

いずれも任意ではありますが、教育充実のために多くの方々にご協力をいただいています。詳細につきましては、入学後に募集のご案内をお送りいたします。

慶應義塾 基金室

## 10. 三田キャンパス案内図



交通アクセス

田町駅 (JR 山手線/JR 京浜東北線) 徒歩 8 分

三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) 徒歩 7 分

赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩 8 分

## 慶應義塾大学

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 南校舎地下一階

電話 03-5427-1067 (学生部大学院入試担当)

E-mail [grad\\_admissions@info.keio.ac.jp](mailto:grad_admissions@info.keio.ac.jp)

URL <https://www.keio.ac.jp/ja/grad-admissions/>

学生部窓口利用時間 月曜日～金曜日 8:45～16:45 (祝・祭日を除く)